

いただいた記述意見（原文のまま）

学校としての見解 文責：校長

タブレットのセルフサービスに入っているアプリについて学校から子どもへ活用について紹介や説明があるとよいと思う。（あんざんマン・小学生手書き漢字ドリル・九九等学習に係るもの）保護者や子どもが自分の判断でインストールしてよいのかわからない。担任に確認した人のみ使えるではなく、どの子も活用できる環境になるとよい。

セルフサービス内にあるアプリについては、岐阜市教育委員会の担当課が判断しフォルダー内に入れています。インストールは各自で自由に行える状態になっています（ただし、あまりにも多数のアプリをインストールすると容量不足になる可能性もあります）。

学校でも随時、セルフサービス内を確認し、どのようなアプリがインストールできるのか見ていますが、全てのアプリの内容を把握することが難しい状況です。子供たちが自習時間や家庭学習で活用できるものは、担任等から紹介させていただいていますが、使ってみて自分に生かせそうなアプリを見つける力も今後は大切になってきます。ご家庭で「今どんなアプリをよく使うの？」と話題にさせていただくなど、デジタルシティズンシップの考え方で接していただければ幸いです。

集団登校ではなくなり、自由になったことで、家が遠く長く歩かないといけない場合、5、6年生の見守りや指導がないことは1年生は不安です。また近所の子達との交流機会もなくなってしまったため、あまり良い選択だったとは思えません。

一人一人が交通ルールを意識し、見守っていただいている地域の皆さんに感謝しながら、安全に登下校できることが一番大事にしなければならないことです。一人ひとりの子供たちには、自分自身でまわりの様子を確認しながら、安全に登校するという意識や行動力を育てたいと考えています。

登校方法については、昨年度末より、「個別・集団の選択式」をとっています。地域コミュニティを大切にしたいというお気持ちはよくわかります。現在、集団登校はダメ!にはなっていませんので、地域の皆さんや子供たちとよく相談していただき、その総意で登校方法の決定をしていただければと考えています。

1年生と6年生の教室が隣り合っている事について、良い点もありますが、改善点もあると考えます。6年生が道案内をしてくれた、手助けをしてくれた、という話もある一方で、悪口を言われた（ちび、はなげ等）身体を押されたという話もありました。良い影響と同時にトラブルも増える前提で、フォローが必要であると考えます。家庭でも、無視する、逃げる、やめたと叫ぶ等の指導はしましたが、教員への相談は有耶無耶に終わったようです。特に暴力を受けた際の相談先を、子どもへ明確に提示していただけるとありがたいです。

今年度から、「将来にあこがれ、自分の成長を実感する」ことを意識して教室配置を変更しました。ご意見にあるように、良い面もあれば悪い面もあることを前提に教員も対応するように心がけていますが、教員への相談が有耶無耶に終わってしまっていたことがあったことにはお詫び申し上げます。相談先については、担任、学年主任、生徒指導、いじめ対策監など誰でも大丈夫です。子供たちには「自分が一番相談しやすい人に話そう」と伝えてあります。また、年度初めに「ダブルサポーター制度」を設け、子供たちは担任以外で一番相談しやすい教職員を指名しています。ご家庭でも誰を指名したのか話題にいただければ幸いです。

関係づくりの中で、同じ「事実」に対してでも「受け止め」は人それぞれ異なります。そのことを小学生にどのように理解させていくのか、子供たちとの対話を繰り返しながら指導するようにしていますが、それぞれの「受け止め（思い）」の違

	い」を「納得(わかったよ)」までもっていくのには時間がかかることがほとんどです。また、どうしても腑に落ちないと納得できずにモヤモヤしたまま時間が過ぎてしまうことがあることは承知しています。何とか、そうならないように対応したいと考えていますが、それぞれの思いを理解し、納得するまでに至っていない案件があることについては、申し訳なく思っています。今後も、ご不安な点があれば、いつでもご相談ください。
トイレの便座が暖かくなると良いなと思います。回答に分からない事もありごめんなさい。これからも学校をもっとよく知ろうと思います。	このアンケートを通じて「学校のことをもっと知ろう」という前向きなお考えを持っていただけたことに感謝申し上げます。トイレの便座については、これから寒くなるにつれて、私たち教職員でもお尻をのせるのを躊躇するくらい「冷たっ!」ということがあります。施設改善要望として市教育委員会へも伝えてまいります。
いつも楽しく通うことができます。ありがとうございます。	「笑顔と輝きをうみだす学校」を年間のキーワードに取り組んでいます。引き続き、子供たちが笑顔で楽しく過ごせるよう教育活動を進めていきたいと考えています。
小学校で野外スポーツのクラブ活動を出来るようにして欲しいです。実質スポーツ少年団の野球も学校が使用出来ると助かる面が多々あります。雨の日の体育館使用などもお願いしたいです。	休日や夜間の学校施設開放については、岐阜市の規則に基づいて行われています。岐阜市のHPにも案内がありますので、ぜひご覧いただき、申し込みをしていただければと思います。 キーワード検索「岐阜市学校施設開放」でヒットします。
支援学級と交流学級の連携がよく取れていてありがたい。子供の特性をよく理解して接してもらっているおかげで、子供もとても楽しく学校に行けている。無理させることなく、しかし、適度に挑戦の機会も持たせてもらっていて、おかげでいろいろなことが伸びている。今が良すぎるので、親としては逆に、この先支援級の担任が変わってしまった時が不安。	世界の多くの地域では、障がいの有無にかかわらず、全ての子どもたちが共に学ぶ「インクルーシブ教育」が主流になっています。日本では個に応じた指導ができるようにと「支援学級」の制度がありますので、本校ではその両方のよさを生かした指導ができるように努めているところです。学級担任については、異動がある関係で永遠に同じ職員が対応することはできません。担任が変わるときには、お子さんが感じるストレスが少しでも減らせるよう、対応させていただきます。ご不安な点については、いつでもご相談ください。
デジタル化をする事は悪くはないですが、災害時・緊急時にネット通信が使えなくなった時、アナログでの対応が瞬時に出来るのか、正直、対応出来ないと感じています。	現在、学校発信としてはスマート連絡帳とHPのデジタル通信、3回線の固定電話と3回線の携帯電話での対応が可能となっています。しかし、全校児童665名いますので、瞬時のアナログ対応は非常に厳しいものがあると考えています。災害時の安全確保については、教職員のマンパワーと子供たちの意識・行動力に頼る部分が非常に大きくなります。非常災害時に「パニック」を起こさないよう、訓練等を通して日頃から教職員や子供たちの「命を守る」意識を高めてまいります。

	なお、保護者の皆様には、災害発生時に緊急通信が利用できない場合もあることを理解していただくことも大切なことですので、その啓発に努めてまいります。
毎日楽しく学校に通っています。ありがとうございます。 一つ気になる点で、校内放送で表彰など良い行いで名前を発表されることがあるようですが、ウチの子はまだそういうことはないですが、もし賞状をもらっても、放送で呼ばれたくないと言っていました。目立ちたくないと。そういう場合、事前に本人に、放送で発表してもよいか確認してもらうことはできますか。賞状やメダルなどが好きなタイプなので、検定を受けるように薦めたら、名前を呼ばれたくないからやりたくないと言いましたので。ご検討よろしくをお願いします。	校内放送（校内掲示を含む）をするかしないかは、子供本人の希望に沿う形で対応させていただいています。放送してほしい子供たちは賞状やメダルを手に校長室まで報告に来ています。検定を受けて合格したら必ず名前を放送（掲示）するというものではありません。子供たちに誤解を生じていたようで、申し訳なく思います。 お子さんにはぜひ「全員が放送されるわけじゃなんだって！頑張って検定受けてみたら？」と声をかけていただくなど、いろいろな内容で、自分の実力を発揮してみるよう促していただければ幸いです。 なお、学校を通じて応募した作品展や記録会などの表彰は、主催者から連絡のあった段階で、全校放送で紹介する場合がありますので、ご理解ください。
毎日楽しく学校に通っていますが、他学年でいじめがあったとき（夏休み前）、いじめについての話をしました。どう響いたかは、本人しかわからないので何とも言えませんが、1年生から伝えられることで、理解もできることだと思います。お友達間でケンカやもめ事があって成長できることもあります。いじめがあってからでは、遅いですし…未然に防いでいきたいことです。親は学校に立ち入れない分、先生方や子どもたちで、しっかりと把握してもらい、いじめをする側、される側の子どもたちのフォロー（家庭環境等含め）が事前に充分に出来るよう、配慮してもらいたいと思いました。	本校を含む岐阜市内すべての小中学校では毎月3日を「いじめを見逃さない日」として、いじめに関する様々な取り組み（本年度は、教師の話、児童代表の話、中学生からの呼びかけ）などを行っています。このほかにも年に数回のアンケート調査や日頃の子供たちとの対話の中からいじめを発見したり、未然に防止に努めたりしているところです。 現在、法律で「いじめ」の定義が決められており『児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍しているなど当該児童生徒と一定の人的関係のあるほかの児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為』となっています。簡単にいうと、何かの行為をされた側が「嫌だ!」と感じたら「いじめ」になるというものです。学校生活を送る中で自分以外の誰かと接すれば少なからず「嫌だ!」と感じることは起きるはず。それらの中で「嫌だ」と感じた子供たちがサラッと受け流せないことは、大きな問題に発展する可能性があるものと考えています。そう感じたときにどう対処するのか、子供たちにも伝え、自分一人で抱え込まないよう指導しているところです。ぜひ、ご家庭で引き続き、いじめについて話題にさせていただき、子供たちの心の支えになっていただければと思います。
性教育、いのち、からだ、健康の意味で学校でも早めにしてほしいと思います。家でもしますが、学校で話してもらう方が子供が聞く耳を持つ様	本校でも性教育（体や心の発達に関する内容）については、国が定める学習指導要領に基づいて指導しているところです。具体的には、3・4年生の保健体育の学習で、体は思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わった

なので、お願いしたいです。既に傾向が みられるので…。	り、初経、精通などが起こったりすること（変声、発毛、異性への関心も芽生えることについても理解できるようにする）になっています。このほか、健康診断時には養護教諭による保健指導の一環として体に関する指導を行っております。
アンケートに関係ないかと思いますが、スマート連絡帳に個別にきた連絡に対して返信できる機能、電話ではなくスマート連絡帳にて学校に意見を伝えられる機能があると良いと思います。	スマート連絡帳の仕様については、岐阜市全体で統一されているため、学校としては変更することができません。市教育委員会へご要望があったことを伝えさせていただきます。
いつもお世話になっております。日々楽しそうに学校に行く様子を見て安心するとともに、それは本人の頑張りに加え、友だち、地域の方々、そして何より先生方のあたたかいご支援、ご指導のおかげなのだろうなと思っております。本当にありがとうございます。意見があるとすれば、いろいろなことを変えていくことももちろんいいとは思いますが、変えた後の評価、そして変える前の説明がもう少しきちんとあると子どもを預けている身としては嬉しいなあと思います。また、運動会に関して、低中高学年で分かれて開催するのも良さはもちろんあるのですが、小2の我が子はコロナの影響もあり全学年で運動会を開催したことがないため、全学年での開催も体験させてあげたいなとも感じました。なかなか全学年での開催のイメージがつかないみたいで。(あ、もちろん学年別での運動会を否定している訳ではありません、それにはその良さがあると思っていますので。)兄弟がいる場合はまとめたの開催の方が仕事の都合もつけやすいですし、何より一度全学年でのまた違った盛り上がりや学年別にはない学びのある運動会を体験させたいので、子どもたちが今後運動会をどうして行きたいか、学年別、全学年も含め、中身を考えていく、計画していく、というのも	変えることへのご意見、その通りだと拝読しました。学校だよりや PTA 総会などの機会を見つけ、説明はさせていただきますが、それで十分かというところではないと感じられる保護者の皆さんがいることについても理解できます。今後もできる限りいろいろな機会を見つけて情報発信に努めてまいります。また、評価については、今回のような学校評価アンケートなどの機会を活用させていただき、次年度以降の計画に反映させていただければと考えています。 運動会の開催方法については、教職員の間でも悩みながら意見を交換しています。そのうえで本年度は昨年度と同様に低・中・高の2学年ずつの開催とさせていただきました。しかし、その中身(競技決定や運営の仕方)は、大きく変えています。学年にもよりますが、教師から与えられた決められた種目をこなすのではない、さらには全体としての統一美を求めるのではなく一人ひとりの笑顔や輝きをうみだすためにどうするかを考えて運営にあたることを基本として実施しました。全校一斉に取り組むことで「将来にあこがれ、自分の成長を実感する」ことにつながると理解していますが、メリット・デメリット(運営・健康安全・子供たちにつけたい力など)を考え、本年度のような取り組み(特別活動【体育的行事】の要素も加味した『体育の授業』の一環としての運動会)となっています。子供たちが意見をもつことや子供たちが行動することの重要性について触れていただいた部分には大いに共感を覚えますし、私もそういう子供たちを育てていきたいと考えています。 次年度以降については、現在、検討中です。今回いただいたご意見も参考にしながらどのような取り組みにしていくのかを決めていければと考えています。

良いのかな、面白いのかなと思いました。ただ全学年開催では 700 人ほどの児童の保護者の方が参観にくることになるので、いろいろ違った面で難しく現実的ではないのかもしれませんが(^;)暑さ対策、体調管理などなど、小さいお子さんを連れての参観も大変ですし(>_<)子どもたちのために日々学校をよりよいものにしていこうとしてくださっている先生方に日々感謝しております。ぜひ子どもたちに自分の考えをきちんと持ち、行動できるような人になってほしいなと思います。今後とも何卒よろしくお願い致します。	
班登校がなくなり、子供会の加入者も減り、地域のコミュニケーションが減りました。親も子も、学校以外の地域活動に関心がなくなっています。 同じ時間に、他の小学校の登校の様子を見て、微笑ましく見え、大切な文化がなくなり残念だと考えています。ラジオ体操も、参加者は殆どいませんよ。	登校方法については、昨年度末より、「個別・集団の選択式」をとっています。地域コミュニティーを大切にしたいというお気持ちはよくわかります。現在、集団登校はダメ!にはなっていませんので、地域の皆さんや子供たちとよく相談していただき、その総意で登校方法の決定をしていただければと考えています。学校は決して「集団登校をするな!」と言っているわけではありませんのでご理解ください。 夏休みのラジオ体操の参加者が少ないのは残念ですが、参加したくなる仕組みを各地域で考えるなど、今後どうしていくのかを皆さんで相談するいい機会(まさに地域のコミュニケーションの場)になると、皆さんの考え方を変えるきっかけにしていいただければと思いますがいかがでしょうか。
デジタル化が進み、授業や家庭学習において、効率的に学習ができる一方で、国語ではデジタル教材の活用によって「書く力」が低下しているように思います。漢字練習をはじめ、自分の考えを書く、説明するなどの記述問題など、タブレット学習だけでなく、ノートに書く学習方法を子どもたちにしっかり伝えていただけたらと思います。	自分の考えをもつ、他者に説明するなど、いま子供たちに求められている力について考えていただけていることに感謝です。国語の学習の内容でも「書くこと」は各学年に大きく位置付けられています。ただし、ノートと鉛筆を使った大人がイメージする「書く」だけでなく、デジタル端末を使って書くことも活用していくことが、未来社会を生き抜く子供たちには必要な力にもなります。今後も、学年の発達段階に応じてノートに書く、デジタルで書くを併用しながら「書くこと」について指導してまいります。
先生方は子供達を、見守ってくれるので、ありがたいです。	今後も引き続き、子供たちと向き合う時間をできる限り確保できるよう努めてまいります。
夏チャレンジの時に食べ物がみんなに行き渡らなかったことが、我が子はじめ、多々耳にしましたし、子供達	この件については、多くの方からご指摘をいただいております。PTA 本部役員の皆さんとも情報を共有し、次年度以

がすごく残念がっていました。今後はチケットにするなど、公平さが持てるといいかなと思いました。	降の運営に反映していただくようお願いをさせていただきました。
iPad が学習用としてではなくフリーゲームをやる為のツールとなっている。家庭へ持ち帰らず、学校で保管していただく事はできないでしょうか？	タブレット端末は「学習のために使う道具」として岐阜市から貸与されているものです。どのお子さんも家庭に持ち帰って家庭学習に活用していただくことが基本です。この他、学校との連絡ツールとしても活用していますので、持ち帰らないことで不都合が生じる可能性もあります。その点を理解していただいた上で、それでも家庭での使用の仕方に関問題がある場合は、担任にご相談ください。
図工など授業で必要なものは、もう少し期間に余裕を持ってしらせていただけると準備がしやすく助かります。暑い日の屋外での体育、課外活動（町探検など）は熱中症の命の危険が大変心配ですし、見学をさせるとしても暑い中外で見学をしなければならので時期を検討し直していただきたいです。雨であれば変更となるのと同様に、暑くても変更としていただいけません。我が子だけではなく、どのお子さんにも何もあって欲しくないと考えています。よろしくお願いします	図工や生活科など授業で必要なものについては、学年通信などを通してできる限り早めにお伝えしているところですが、どうしても「来週の…」となる場合もあります。できる範囲でのご協力をお願いします。 暑さ対策についてはWBGT 指数が31を超える予報がある場合は屋外での活動を中止にしています。町探検についても同様の対応となっていますので、状況に応じて中止となる場合もあります。 校区探検など屋外での活動がある日には、水分を多めに持たせる、ひんやりグッズを用意していただくなど、ご家庭でもできるご協力をいただければ幸いです。
夏休み前の学年懇談会がとても良い内容で勉強になりましたので、また同じような会があったら嬉しいです。 ・今の子どもたちの学習内容、理解度、姿勢などが教科別に具体的に聞けたこと。 ・先生方が日々のご指導の中で大切にしていってくださること（語彙について）。 ・子どもへの声掛け（褒めることの大切さ）。 この3つが特に聞けて良かったです。定期的に聞きたいくらいです。家庭でどのように子どもを見守れば良いかの大きなヒントになったのと、新たに疑問も湧いたので、次回開催を期待しています。以上です、今後ともよろしくおねがいいたします。	懇談会の話題を参考にいただきありがとうございます。短い時間ですが学年の教員や担任の思いやお子様への対応について話をさせていただいています。 今年度の学年（学級）懇談会は授業参観と合わせて7月と2月に実施する計画となっています。次年度以降も同様に授業参観並びに懇談会を実施していきたいと考えています。できる限り、参加した多くの方に喜んでいただけるよう、内容も吟味してまいります。

いつも子供のことをよくみてくださってありがとうございます。これからもよろしくお願いします。	今後も引き続き、子供たちと向き合う時間をできる限り確保できるよう努めてまいります。
積極的な子、自発的な子ばかりに目を向けず、一人一人のよさを知ろうとしてほしい。学力だけに目を向けず、子どもたちがどんなことに興味があってどんなことが好きなのかなどを知ろうとしてほしい。	一人一人違う子供たちをどのように受け入れていくのか、私たち教職員に課せられた大きな課題を指摘していただきありがとうございます。 積極的な子供や自発的な子供への対応は、全員の目に見える場合が多く、子供たちや保護者の印象に残るものになります。一方で、個別に対応している場合は多くの子供たちの目に留まりにくいこともあります。いずれにしても「私には声をかけてくれない…」と感じる子供が一人もいないよう一人ひとりにできる限り寄り添う努力してまいります。 また、学校生活の多くが教科授業に充てられるため、いわゆる「学力」が大きく注目されているように感じられることも理解できますが、日常生活や係活動などでの学びや活躍にも目を向けているのが本校も含む日本の学校の特徴になっています。 今後も一人ひとりの子供たちに、わかる・できる喜びを味わわせていく学校であると同時に、子供たちの興味関心があることにできる限り寄り添えるよう、つとめていきたいと考えています。 学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしていくなかで、私達教職員も学校の本分をわきまえながら、学校として何ができるのか考え、取り組んでまいります。
「自分の向上や成長を目指して、改善を繰り返す子」とあるが、宿題に関して言えば、自主学習は何をしたらいいかかわらないようです。結局楽な課題にいつてしまうか、やらないか、になってしまう。どんなことをやるというか具体的に見せてあげてほしい。親が提案する勉強方法はやりたがらない。	家庭学習については様々な考え方がありますが、本校では、低学年で「学習の習慣づくり」、中学年で「学習内容の定着」、高学年で「学びたいことに挑戦」を意識させるよう働きかけています。いつまでも「宿題」があると、それは言われたことしかできない子供を育てることにもつながります。習慣ができれば、苦手を減らし、得意を伸ばすなど、自分に合った家庭学習へ変えていくことも容易になります。学校でも家庭学習については適宜指導していきますので、ご家庭でも「宿題」は学校が出すものという、これまでの当たり前にとらわれないことがないよう、家庭でどんな学習をすると自分のためになるのか、お子様と一緒に考えていただければと思います。
学校に行きづらい子どもたちの教室をひとつ作って欲しい。行けるようになるまで気持ちを落ち着かせる場所があるといいと思う。(穂積小にはあるらしい)	現在、市教育委員会で、学校への行きづらさを感じている子供たちが少しでも学校へ足が向くようにと、市内5つの中学校に対応教室を設置し、担当教員を配置しています。担任以外の余裕教員が少ない小学校では、教室の対応や子供たちの見届けをする教職員を配置することが難しく、現状では実現は難しいものになっています。おそらく穂積小学校で

	は、瑞穂市教育員会が教職員の増員などの対応をして居場所づくりを行っているのだと思います。 本校にも余裕教室があるので、担当教員の配置がされるのであれば、対応は可能だと考えています。ご要望については、市教育委員会へも伝えさせていただきます。
最近は何んでも自分で決める。となっていますが、教育を指導する立場にある学校からの指示があつてこそ、子供のやる気が出るのではないかと思います。もしくは、もう少し先生方の手助けがあつても良いのではないかと思います。 今の宿題の出し方(1ヶ月ごと)も、どうかと思います。2.3日でやってしまつて終わったとなっています。これでは、ただやっただけ。そこから、また何度も繰り返し自分で復習しようとなるのが理想ですが、そんな計画を立てるの事は、小学生にはなかなか難しくないでしょうか。家庭で時間を取る事が難しいので、学校に無理を言いますが、我々の時代は、良くも悪くも、もう少し指導していただけたいと思いますよ。	「自分で決める」必要感をどう子供たちに持たせるのか、子供たち自身の「向上心」をどう高めていくのかが求められている部分なのかと感じています。その支えとなるのが、学校からの働きかけであり、ご家庭での声かけであり、地域の方からの励ましになるのでは…と個人的には考えています。ご意見をいただいたのは、学校からの働きかけの十分さを検証してほしいというご要望かと思います。 学校に足りていない部分は、保護者と家庭学習/宿題の意味を共有すること、もっと大きな視点から言うと、学校や家庭の役割、社会から求められる人物像の変化について、保護者のみなさんと共有できるよう努める部分なのかと感じています。 例えば、「教員に言われたこと(例えば「課題/宿題」)をやること」は、学校の授業中であればある程度理解できることでも、本来自由な時間であるはずの家庭に戻ってから全員にやらせる(強要する)ことは、それを「当たり前」と考える方もいれば、「家庭での時間に口を出さないでほしい」という方もいらっしゃるということです。だからこそ「個に応じたアドバイス」をしていくことが教員に求められているのだと考えていますし、家庭で取り組むとよいことをたくさん例示する必要性も感じています。この点については、本校の職員にも事あるごとに話をしているところです。教員の手助けの必要性は十分に理解をしているところです。 良くも悪くも、ひと昔前までは、家でやってこなかった宿題を泣こうが嫌がろうが休み時間に教室に残してやらせるや、授業中にできなかった問題を放課後学校に残してできるまで指導する(やらせる)という当たり前のように行われていた指導が、今の社会情勢の中では理解されない(否定される)場合があるということです。 全員に教員が示した同じ宿題(家庭学習)を同じようにやらせる時代は終わりを迎えているのではないのでしょうか。繰り返しになりますが、個に応じた教員からのアドバイスが十分機能していない点は改善に努めてまいります。
うちの子は学校に行けていないですが、授業は受けたいと言っています。コロナやインフルも流行っていま	難しい話になってしまい恐縮ですが、国には「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」というものがあり、学校に行くことが難しい子供

すので、オンライン授業を受けやすい環境にさせていただいたり、多様な授業の受け方を保護者も交え、考える機会があると助かります。	たちに教育の機会を確保する施策を行っていくことが国や岐阜市などの地方自治体に求められています。 この法律の趣旨を理解したうえで、オンライン授業への参加や多様な登校方法について、子供たちや保護者の皆さんと考えていければと思っていますので、ご相談いただければ幸いです。こちらからも改めて連絡を入れさせていただきます。
校舎が不衛生です。子どもは特にトイレが汚いからと学校ではなるべく入らないと言います。私も汚いと思います。他の子も入りたがりません。着ぐるみ作るより業者にクリーニング頼めば良いのにと 생각합니다。	平成20年に完成した新校舎も15年の年月が過ぎ、手入れの行き届いていない部分があるのも事実です。トイレについては、できる限り衛生的に利用ができるよう、子供たちや教職員による清掃活動を行っておりますが、行き届かない点があることについては申し訳なく存じます。自分たちの使うトイレを自分たちできれいにするという意識も育てていければと考えています。学校によっては、PTA 主催で『トイレぴかぴか大作戦』と銘打って親子や保護者によるトイレ掃除の機会を設けているところもあると聞きます。業者によるクリーニングについては学校で使える予算、他校とのかねあいもありますので、今すぐの実施は難しいと考えます。 なお、そてっちゃんの着ぐるみは、以前に子供たちのためにと PTA 発案で PTA 予算を使ってつくられたものです。ご理解ください。
仕事を始めたということもあるのですが、学習ボランティアに行くことが、以前のようにできなくなりました。昨年までの、先生方の希望の授業や時間を示していただいていたほうが私自身行きやすいとも思うし、実際そういう話を他の保護者の方からも聞きます。以前のシステムに戻していただくことはできないでしょうか。 先生方もお忙しいのは重々承知しておりますのでこんなことを言うのは憚られるのですが、下校予定時刻表をもう少し早く公開していただくことはできないでしょうか。もちろん学校行事や予定の事ですので致し方ないかとは思いますが、月末ギリギリではなくもう少し前もってお知らせいただけると大変助かります。	学習ボランティアへの登録並びにご協力に感謝申し上げます。今年度は昨年度までのやり方を変え、「いつでもどのクラスでも参加 OK!」というスタイルをとり、登録いただいた皆さんのご都合の良い時間帯に学校へお越しいただけるようにしました。 昨年度までは、生活科や家庭科の作業が入る時間、楽器の初期指導の時間、算数の個別指導が必要な時間など教員からのお願いで参加する時間をお願いしていましたが、「都合が合わない…」などのお声や「英語や国語など、ほかの時間もお手伝いできるよ!」というお声もあり、だったら「いつでも OK!」でいきましょうということにした経緯があります。お互いに「よりよい方法」へ変えていくことは大切なことです。他の登録者の方のご意見もぜひお聞かせください。 下校時刻の予定表については、できる限り早めに出すように努めますが、早ければ早いほど、あとからの修正が入る可能性が高くなります。毎月20日までには配信するように努力してまいります。
例えば、うちの子は、生き物や恐竜が好きなので、年に1回でも、学年を飛び越えた、興味ある分野別に集ま	今、6年生の子供たちが中心になって「縦割り遊び」を計画的に実施していますが、その派生型として「興味分野別の集い」というものがあっても面白いかもしれません。すぐに行

り、何しよう？から始まってもいいので、語り合う場から、 自分、関係、未来作りにつながるのかなと思った。同じ興味ある仲間だと学びの楽しさを共有しやすいかなと思います！	うということは難しいかもしれませんが、自分、関係、未来づくりにつながる一つの方法として参考にさせていただきます。
宿題から家庭学習に移行していく中で、積極的に取り組める子は計画段階から先を見越して、自分に必要な学習を取り入れることができるが、勉強に対してなかなか前向きになれない子は計画を立てることから難しく、家庭学習がなかなか進まないという現実があるように思います。 苦手を克服するために頑張るのか、得意を伸ばすために頑張るのか、その声かけが難しく親としても迷うところがあります。各家庭で色んな方針があるかと思いますが、『自分で考え行動していく』この力を伸ばすために、学校と家庭で同じ方針に向かって取り組み、将来子どもたちがそれぞれの得意分野で活躍できるようなサポートができたらいいなと思います。	家庭学習の意味を教員と保護者が共有するとともに、子供たちが理解できるように伝えていくことが求められているのかと思います。 宿題はあって当たり前、宿題が終わればそれでおしまいという子供たちを含む多くの日本人に染みついた考え方を「自分で考えたことができるチャンス」という新しい考え方に変えていくために、教員と保護者が一緒になって取り組んでいければと考えています。
LD の子供たちが自己肯定感を下げることなく、学習に取り組める環境を提供して頂けるといいなと思います。必要なサポートをもっとしてほしいです。	LD（学習障がい）の診断が出ているお子さんについては、必要な対応をとりながら、わかる、できるを増やしていく指導に努めているところです。しかし、集団の中での学習となる場合、心ない他者との比較や十分なサポートができていないなど、自己肯定感を下げてしまうことがあります。その点については申し訳なく思います。引き続き、懇談等を通じて、必要なサポートの内容を相談させていただきますので、いつでもお声かけください。
高学年の運動会のやり方を、以前のような形に戻して欲しい。自分達で企画して考える力を養うという趣旨は理解できるが、そのメリットを感じる子はごく一部の子であって、大多数の子にとってメリットは感じられない。逆に運動会特有の達成感や一体感を味わう機会を逃しているように感じる。準備期間をもう少し長くして、せめて全員での表現運動を復活させて	今年の運動会は「体育」の授業の一環として実施させていただきました。名称を「運動会」としたため、保護者の皆さんにとっては、従来の運動会を想起させることとなり、何となく物足りなさを感じさせてしまう結果になってしまいました。学校としての説明不足があったこと、申し訳なく存じます。 いわゆる「運動会」の位置づけやあり方については、保護者の皆様のご意見も参考にしながら、学校として決定していきます。 運動会特有の達成感や一体感をよしとして感じられる方もあれば、運動会で大勢の前で走ったり、みんなとそろって

ほしい。親も物足りない。子供達が生き生きと輝く姿を見たい。	演技をすると思うだけで学校へ足が向かなくなるというお子さんがいるという現状があることもご理解ください。
トイレの便座が暖かいと良いなと思います。 一部うるさい児童がいるため、授業が頻繁に中断され意欲的に授業に取り組めない。いろんな児童がいることは理解しているし、個性も尊重するが、ちゃんと授業を受けることができる環境をつくってほしい。	トイレについては、市教育委員会へ要望があったことを伝えさせていただきます。 授業の進行を邪魔するよううるさい児童への指導については、その都度行っておりますが、すぐには改善しないこともあり、ご迷惑やご心配をおかけしております。今後も、一人ひとりが安心して授業に向かう環境ができるよう努めていきます。 一方で、保護者の皆さんに学習支援ボランティアで授業をのぞいていただくだけで、子供の姿が一変することもあります。教員も頑張りますが、保護者の皆様のサポート・ご協力もぜひお願いします。
スマート連絡帳でのお知らせに変わり、昼間に連絡が入るため、勤務中だと後で見ればいいや、がより多くなり、おたよりの見落としや未読が増えてしまった。学年通信や校外学習のお知らせなどは紙面配付でもよいのではないか。 「自分づくり」や「未来づくり」など、頑張っている子どもたちの姿を紹介してほしい。親もどのようにサポートしたらいいのかわからない人も多いのではないか。子ども任せばかりでは、やる子とやらない子の差が出そうだが、具体的な姿を親にも子にも紹介していただけると、親の言葉かけも変わってくると思う。子どもを励ましたり、アドバイスしたりする親のサポートが子どものやる気を後押しすることにもつながるのでは。	通常の配信は、保護者の方が連絡をご覧になりやすい時間帯を探りながら送信しております。お昼休みの時間帯なら…という考えでお昼前後に、お帰り早々の時間であれば…という考えで夕方にとのことです。 子供の具体的な姿の紹介については、ご指摘のとおり、自分・関係・未来の3区分を区別することなくHPや学校だより、学年通信などでお伝えしていました。今後すぐに変えることはできないかもしれませんが、特徴的な場面を取り上げ、紹介していくように努めてまいります。ぜひ、子供たちのサポート、後押しをよろしくお願いします。
いつも、担任の先生はじめ、気にかけてくださり、ありがとうございます。	今後も引き続き、子供たちと向き合う時間をできる限り確保できるよう努めてまいります。
スマート連絡帳の長子のみ連絡を提案した時、即座に対応して頂いて、本当に感謝しています。	これまで、兄弟姉妹関係で同じメールが何件も配信されておりましたことお許しください。少しずつ改善してまいります。
防災訓練におけり引き渡し訓練は、もう少し危機感を持って行ってほしい。	私を含む職員の危機意識が欠如しているように感じさせてしまい申し訳なく思います。各種訓練の意味を理解し、危機感をもって対応するよう心がけてまいります。

タブレットを活用したり、先生の授業の進め方の工夫で子供が楽しく勉強に取り組めていて勉強に対する意欲を向上させている所が良いと思う。 また授業中の板書もタブレットに配信されていて、復習にも役立っているし、教育を受ける子供達にとってとても良いと思います。 欠席している時に、タブレットで授業が配信されていれば、体調次第でリアルタイムで授業が受けられると思うので配信されれば嬉しいなと思いました。 楽しく学校生活を送れている事が親としてはとても嬉しいです。	学校の積極的なタブレット端末活用に賛同いただき、感謝申し上げます。 欠席者への授業配信については、オンライン専用の積極的な配信とは異なるため、どうしても教室の子供たち向けの授業が配信され、授業内容が伝わりにくい場合が多く、かえって不安を生むのではないかと心配しております。 体調不良がある場合は、まずは体を休めることを大事にしていだければと思います。それでも配信をと希望される場合は、担任までご相談ください。
A～C は担任の先生の力量次第。 特に B の設問は経験値や観察眼が必要だと思う。（同じ学校でお手本通りの受け答えしかできない先生、かたや神様レベルの先生がいたり。うちの子はこの神様レベルの先生のおかげで今年とても大きく成長しているし、残り半分もまだまだ成長していくと思う）。	厳しいご指摘をいただきました。教職員一人ひとりの力量を高めるべく、日頃からの指導や定期的な研修を行う中で、少しでも改善していくよう努めてまいります。 また、担任一人の力量に頼ることがないように、積極的な教科担任制の導入や朝の会や給食・掃除の時間などの担任入れ替えなども実施を進めていきます。
いつも楽しく通うことができています。ありがとうございます。	今後も引き続き、子供たちと向き合う時間をできる限り確保できるよう努めてまいります。
学校、特に担任の先生やひだまりの先生は子どものことをよく理解し、定期的に報告や連絡をしてくださるのでとてもありがたいです。来年度は子どもが卒業し、保護者から地域の立場になります。が小学校との関係が切れるのではなく何かしらの形で子どもたちと関われるようにしたいしそういう場が増えるといいなと思います。	担任や通級指導担当者への温かいお言葉に感謝申し上げます。お子さんが卒業された後も、ぜひ、柳津小学校とかかわりを持っていただき、一緒に子供たちの成長を感じていただければと思います。よろしくお願いします。
	以上